

自 己 評 価 表

NO. 1

愛媛県立今治西高等学校全日制

学校番号 1 4

教育方針	徳・知・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を期する。	重点目標	1 温かい人間性と豊かな社会性を身に付けさせる。 2 高い知性と豊かな創造性を養う。 3 強い意志とたくましい体力を培う。
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
温かい人間性と豊かな社会性	基本的生活習慣の確立	友情と思いやりの心を育み、マナーの守れる生徒100%を目指します。	A	学校生活における集団社会でのルールやマナーと交通ルールの規範意識やマナーについての指導やその理解については、高い評価を受けている。	日常生活におけるルールやマナーを理解させて、守れる生徒100%を目指して努力したい。端正な身だしなみについても指導していきたい。
	安心・安全な学習環境の確保と心身の健康	自他の生命を尊重する態度を身に付けさせるとともに、交通事故ゼロを目指します。	B	交通ルールの遵守・ヘルメット着用の徹底について、校内外での指導に努力し、生徒の意識は高まったが、交通事故ゼロにはならなかった。	交通ルールやマナーを遵守することをさらに徹底したい。自らの命は自らが守るという意識を高めさせ、交通事故ゼロを目指す。
		「心の悩み」解消をサポートし、学校生活に充実感の持てる生徒100%を目指します。	B	諸検査やアンケート及び追跡を行い、情報の共有に留意しながら、悩み解消のサポートに取り組んだ。	諸検査や学校生活に関するアンケートを十分に活用し、悩みの早期発見、情報の共有に一層努めたい。
		保護者・地域に支えられた学校として、PTA総会出席率40%、保護者懇談会出席率100%を目指します。	B	総会日に行う陸上競技大会が今年も雨天順延になったが、保護者出席者は327名で、出席率は35%になり、昨年よりも4%上昇した。保護者懇談会は例年通り高い出席率を維持している。	学校行事については、早期に案内するとともに、一層の情報発信に努め、開かれた学校づくりを進めたい。
		安心して活動できる学校を維持するための防災教育や環境教育を充実させます。	B	シェイクアウト訓練や防災避難訓練（火災）を実施した。生徒は清掃活動に積極的に取り組み、学習環境の整備が適切に行われた。	校舎の老朽化にともなう補修箇所について、迅速かつ適切に対応していきたい。
高い知性と豊かな創造性	学ぶ意欲を高揚させる教科指導の充実（授業改善への取組）	ICTの活用などにより、主体的・対話的で深い学びを積極的に取り入れ、授業満足度100%を目指します。（「授業に関する生徒評価」4.8ポイント以上）	B	授業に関する生徒評価のアンケート結果は4.8ポイントで設定の目標を達成したが、授業満足度100%とまではいかない。	アクティブ・ラーニングだけでなく、探究的な学習の研究・実践をさらにを行い、生徒が自主的に参加する授業づくりに努めたい。
	自ら学び自ら考える力を育てる家庭学習の充実	確かな学力の定着を図るために、課題の与え方を工夫し、家庭学習1日平均4時間以上を目指します。	B	家庭学習時間は3年生は6時間、1・2年生は考查発表中が約4.5時間、平常時が約3時間である。もう少し学習時間を確保させたい。	考查発表中だけでなく、日頃から学習習慣を身につけさせ、平常時の家庭学習時間が増えるよう、学校全体で学習体制を確立したい。
	読書活動の推進と思索する態度の育成	年間1回以上のクラス読書会、2回以上の全校読書会、1・2年生において朝読書を実施します。「螢雪ライブラリー」の活用、読書レポート・読書感想文などの実施を通して、より高いレベルで読書し思索する態度を育てます。	B	1・2年生で朝読書を実施し、3年も協力した。学年団の指導で概ね良好であった。年2回の図書館読書会は充実しており、秋の読書週間で啓発放送（ユゴーやフロム等）も実施した。国語科を中心に読書レポート・感想文も推進した。	31年度は1～3学年（全校）で朝読書を実施したい。各教科・ホームルーム活動・図書館だより・図書館読書会などでの学習活動や啓発により、読書の質・量のさらなる向上を図りたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
強い意志とたくましい体力	特別活動の充実と連帯感の醸成	学校行事や生徒会活動などの特別活動を盛んにし、たくましい心と体を育てます。 ボランティア活動への参加を促し、「共生」の心を育てます。	A	生徒会が生徒全体の意見をよく聞き入れ、全員が参加して活動できるように工夫を重ねた結果、生徒全体の満足度は高まり、自ら参加しようという機運は高まったと思われる。募金活動などを通してボランティア活動に対する積極的な姿勢も養われた。	行事参加の形を見直し、不得意な分野への挑戦の仕方、得意な分野への積極的な参加の仕方を生徒会を中心に検討させていきたい。また、他人事と思わず、互いに協力し協調する姿勢を育てる工夫を検討していきたい。
	部活動の充実と心身の健やかな成長	部活動加入率100%を目指し、生き生きとした学校生活が送れる環境づくりに努めます。(全国大会出場7部以上)	A	部活動加入率は90%を超え、校外の社会体育での活動の場所も増えたことから、様々な活躍が見られた。文化部の活躍もあり、全国大会での活動に意欲的に参加することができた。	活動時間のけじめをしっかりとつけさせ、勉強と部活動、また休養についても科学的に考えさせ、効率の良い活動を目指していきたい。
	人権・同和教育の充実と豊かな心の育成	人権尊重の意識を更に高め、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決への実践力を高めます。	B	ホームルーム活動・人権アSEMBリー・講演会・人権委員会活動等を通して大半の生徒は人権感覚を磨いているが、本当にその人の立場になって考え、差別をなくす実践力、行動力が身に付いているのかという点と厳しい。講演会では保護者参加数が例年少ないとはいえ、倍増していた。家庭・地域との連携が大切なので、来年度も続けていきたい。	本校教員に、中学校授業参観や異校種間研修会などへの参加を積極的に勧めることで、一層人権意識の高いホームルーム活動を目指していきたい。
夢の実現	進学指導の充実と進路意識の醸成	自己実現・進路実現100%を目指します。(国公立大学合格率70%以上、国公立難関大学合格60名以上)	A	高校での活動の成果が生かされる推薦・A0入試では、昨年度と同等の合格者を輩出することができ、低学年からの計画的な進路指導の成果が表れているといえる。	ホームルーム活動や進路講演会等の進路行事を通して、生徒や保護者に最新の進路情報を提供し、生徒が進路実現を図りやすい学習環境の整備に努めたい。
		高大連携を深め、視野を広げ、学びへのモチベーションを高めます。	A	オープンキャンパスツアーや他校との合同学習合宿等の実施により、高大連携を深め、自己実現を目指して主体的に学習に取り組む生徒の育成を図ることができた。	1・2年生が使うことになるClassiをより積極的に活用したい。特に、生徒が参加した行事の記録を、ポートフォリオとして着実に蓄積させたい。
		「西高に入学してよかった」と思う生徒100%を目指します。(「学校評価(生徒評価)」4.5ポイント以上)	B	生徒評価は4.4ポイントで、昨年度を上回った。学年ごとでは、1年生4.2、2年生4.4、3年生4.5で、学年が上がるほど充実度が増している。	新入試を見据え、多様な取組を通して進路意識を高揚させることで、学業や学校生活の意義を実感させ、更なる結果の上昇につなげたい。
学校管理	開かれた学校づくり	ホームページに毎日の生徒の活動や連絡事項を掲載するなどして情報発信に努めます。	B	生徒の活動の様子などを伝えるよう努めたが、毎日ではできなかった。県のサーバー更新に伴って、ホームページのデザインを刷新し、新年度からの運用に備えることができた。	更新頻度を上げ、更に学校の魅力がより多くの人に伝わるようにしたい。また、ホームページのデザインについても随時見直し、改善していきたい。
	安全管理	情報の適切な保管・管理に努め、事務処理の適正化を徹底します。	B	校務系ネットワークの運用開始に伴い、校内規定を見直し、情報管理の厳格化に努めた。運用面では徹底できない部分もある。	情報分類の厳格化やその取扱いについて徹底したい。たま、更に校内規定の見直しも必要である。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

